

9 地域への対応状況

9-1 環境の調査及び影響検討の結果

事業者が新たに計画する発生土置き場（仮置き場を含む。）等においては、環境の調査及び影響検討の結果をとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・ 早川町内奈良田地区発生土仮置き場
.....（平成29年11月、平成30年8月更新、平成31年2月更新）
- ・ 早川町内塩島地区（河川側）発生土仮置き場
.....（平成29年11月、平成30年6月更新、令和2年7月更新）
- ・ 早川町内塩島（下流）地区発生土仮置き場
.....（平成30年6月）
- ・ 富士川町高下地区工事用道路整備
.....（平成30年11月）
- ・ 早川町内中洲地区発生土仮置き場
.....（平成31年2月）
- ・ 早川町内湯島地区発生土仮置き場
.....（令和2年6月）

また加えて、以上の影響検討において、事後調査の対象とした項目の調査結果等について、記載している。

9-2 環境保全計画

工事計画に基づき環境保全措置を具体化し、環境保全の内容を資料としてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

事業者が新たに計画する発生土置き場（仮置き場を含む。）においても、環境の調査及び影響検討の結果に基づき環境保全措置を具体化し、環境保全の内容を資料としてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・中央新幹線南アルプストンネル新設（山梨工区）工事
……………（平成27年12月、令和元年6月更新）
- ・早川町内塩島地区（南）発生土仮置き場
……………（平成28年12月、平成31年2月更新）
- ・早川町内西之宮地区発生土仮置き場
……………（平成29年6月、平成30年12月更新）
- ・早川町内奈良田地区発生土仮置き場
……………（平成29年11月、平成30年6月更新、令和2年7月更新）
- ・早川町内塩島地区（河川側）発生土仮置き場
……………（平成29年11月、平成30年8月更新、平成31年2月更新）
- ・早川町内塩島地区（下流）発生土仮置き場
……………（平成30年6月、令和元年6月更新）
- ・富士川町内高下地区工食用道路整備
……………（平成30年11月、令和元年9月更新、令和2年1月更新）
- ・早川町内中洲地区発生土仮置き場
……………（平成31年2月）
- ・早川町内湯島地区発生土仮置き場
……………（令和2年6月）
- ・中央新幹線第四南巨摩トンネル新設（東工区）ほか工事
……………（令和2年7月）
- ・中央新幹線山梨県内高架橋ほか新設工事（利根川公園交差部）
……………（令和2年7月）
- ・中央新幹線山梨県内高架橋ほか新設工事（白井阿原地内）
……………（令和2年11月）

9-3 年次報告

中間報告書を作成しない年度には、当該年度に実施した調査の結果を事業者の取り組みとしてとりまとめ、山梨県及び関係市町へ送付するとともに、事業者のホームページに掲載した。

- ・「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【山梨県】（平成26年8月）」に基づく中間報告書（その1）
.....（平成30年7月）
- ・「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書【山梨県】（平成26年8月）」に基づく中間報告書（その1）」に対する意見の概要及び当該意見についての事業者の見解
.....（平成30年10月）
- ・「平成30年度における環境調査の結果等について【山梨県】」
.....（令和元年6月）
- ・「令和元年度における環境調査の結果等について【山梨県】」
.....（令和2年6月）

9-4 事業説明会等

評価書以降に実施した地域への説明会等の実施状況は、下記のとおりである。

環境保全事務所（山梨）及び中央新幹線山梨工事事務所を設置し、地元住民の方々からのお問い合わせに対応している。

9-4-1 事業説明会

全国新幹線鉄道整備法第9条に基づく工事実施計画の認可（平成26年10月17日（工事実施計画その1））を受け、これまで事業説明会を市町村単位で計10回実施した。その後、より細かい地区単位で計45回実施した。

9-4-2 工事説明会

平成30年度から令和2年度までに実施した工事説明会は以下の通りである。

発生土仮置き場に関する工事説明会を早川町内で3回、工事用道路に関する工事説明会を富士川町高下地区で3回、第四南巨摩トンネル新設（東工区）ほか工事及び第三巨摩トンネルほか工事に関わる地元説明等を早川町で計8回実施した。架橋新設工事に関わる地元説明等を富士川町・中央市・南アルプス市で各1回ずつ実施した。高架橋新設に関わる工事説明会を中央市・南アルプス市で3回実施した。

9-4-3 その他説明会

地元住民の方々に対象事業への理解を深めていただくため、測量、道水付替え計画をはじめ、関心が高い事項に関する説明会を計89回実施した。

9-4-4 山梨リニア実験線視察等

対象事業沿線にお住まいの方々に、列車走行に伴う走行音や振動等について体感していただくため、自治体の協力を得て山梨リニア実験線視察を計3回実施した。体感場所は、大原高架橋（防音壁区間）付近、宮川橋りょう（防音防災フード区間）付近である。

また、地元住民の方々に対象事業への理解を深めていただくため、山梨リニア実験線試験立会を計20回実施した。

9-5 地元からの要望と対応状況

塩島地区発生土置き場に、周辺環境に配慮した色の防音パネルを設置した。さらに、法面に植生工を実施した（写真 9-5-1）。

中洲地区発生土仮置き場について、周辺環境に配慮した色の仮囲いの設置、法面への植生工の実施、周辺への植樹を実施した。

早川町塩島地区において、児童が横断する機会の多い早川北小学校前の県道 37 号線における資材及び機械の運搬に用いる車両の交通量を削減することを目的とする迂回路を設置した。



写真 9-5-1 防音パネル、法面植生工（塩島地区発生土置き場）